

# CASBEE® 広島

■使用評価マニュアル: CASBEE 広島 2016年版

■使用評価ソフト: CASBEE-BD\_NC\_2016(v2.1)

## 評価結果

1-1 建物概要		1-2 外観	
建物名称	(仮称)ベストライフ広島市中区老人ホ	階数	地上3F
建設地	広島県広島市中区吉島西1丁目470	構造	S造
用途地域	近隣商業地域、第二種住居地域、準	平均居住人員	84人
地域区分	6地域	年間使用時間	8,760時間/年(想定値)
建物用途	病院	評価の段階	実施設計段階評価
竣工年	2018年1月 0.0	評価の実施日	2017年4月24日
敷地面積	1,394 m <sup>2</sup>	作成者	山上
建築面積	793 m <sup>2</sup>	確認日	2017年4月28日
延床面積	2,365 m <sup>2</sup>	確認者	圓野



### 2-1 建築物の環境効率(BEEランク&チャート)

**BEE = 0.7** ★★☆☆☆

S: ★★★★★ A: ★★★★★ B+: ★★★★★ B: ★★★★★ C: ★★★★★

### 2-2 ライフサイクルCO<sub>2</sub>(温暖化影響チャート)

標準計算

①参照値 100% (184 kg-CO<sub>2</sub>/年・m<sup>2</sup>)

②建築物の取組み 91% (168 kg-CO<sub>2</sub>/年・m<sup>2</sup>)

③上記+②以外の 91% (168 kg-CO<sub>2</sub>/年・m<sup>2</sup>)

④上記+ 91% (168 kg-CO<sub>2</sub>/年・m<sup>2</sup>)

このグラフは、LR3中の「地球温暖化への配慮」の内容を、一般的な建物(参照値)と比べたライフサイクルCO<sub>2</sub>排出量の目安で示したものです

### 2-3 大項目の評価(レーダーチャート)

### 2-4 中項目の評価(バーチャート)

#### Q 環境品質

Qのスコア = 2.6

Q1 室内環境 (スコア: 2.6)

Q2 サービス性能 (スコア: 3.0)

Q3 室外環境 (敷地内) (スコア: 2.1)

#### LR 環境負荷低減性

LRのスコア = 2.9

LR1 エネルギー (スコア: 3.0)

LR2 資源・マテリアル (スコア: 2.7)

LR3 敷地外環境 (スコア: 3.1)

### 3 広島市の重点項目

重点項目の総平均スコア = 2.7

「地球温暖化対策」の推進	「ヒートアイランド対策」の推進	「長寿命化対策」の推進
スコア = 2.9	スコア = 1.9	スコア = 3.0
<b>設計の計画上特段に配慮した事項</b> 熱負荷抑制のため、平成28年省エネルギー基準を満足する性能を有する建物計画としている。////非再生資源資源の使用量削減のため、各部材の接合部はすべてボルト接合とすることで、部材の再利用可能性の向上に努めている。/地球温暖化への配慮のため、省エネ性能の向上に努めることにより、LCCO <sub>2</sub> の削減に努めている。	<b>設計の計画上特段に配慮した事項</b> /広島市の「建築物における駐車施設の附置等に関する条例」の基準を満足させ、敷地乗入口の位置や幅員に配慮し、交通負荷の抑制に努めている。	<b>設計の計画上特段に配慮した事項</b> 主要内装仕上げ材や空調・給排水配管の更新必要感覚の長い材料を使用することで、建物の耐用性の向上に努めている。/

■CASBEE: Comprehensive Assessment System for Built Environment Efficiency (建築環境総合性能評価システム)  
 ■Q: Quality (建築物の環境品質)、L: Load (建築物の環境負荷)、LR: Load Reduction (建築物の環境負荷低減性)、BEE: Built Environment Efficiency (建築物の環境効率)  
 ■「ライフサイクルCO<sub>2</sub>」とは、建築物の部材生産・建設から運用、改修、解体廃棄に至る一生の間の二酸化炭素排出量を、建築物の寿命年数で除した年間二酸化炭素排出量のこと  
 ■評価対象のライフサイクルCO<sub>2</sub>排出量は、Q2、LR1、LR2中の建築物の寿命、省エネルギー、省資源などの項目の評価結果から自動的に算出される